

祝・大学開学十周年記念式典挙行



東京聖栄大学は平成二十七年六月六日に大学開学十周年を記念して東京聖栄大学わたなべ記念館において盛大な式典が挙行されました。東京聖栄大学発展までの歴史は長く、昭和二十二年に開設した「オリズムピア洋裁学院」を発祥とし、栄養士養成施設として厚生労働大臣から昭和二十九年に「聖徳高等栄養学校」名で指定をうけました。その後、昭和三十三年には「聖徳栄養短期大学」に発展。そして平成十七年に聖徳栄養短期大学をベースにした高い技術と専門性を目指す四年制大学として「東京聖栄大学」を開学し、今年で十周年を迎えることができました。

式典当日は、約七百名が出席のもと、松本信二学長が式辞にて「十年間の歩みを振り返り、この日を迎えられた事は校訓の熱意、誠意、創意の三意の成果であり、関係者各位の尽力に敬意と感謝を表したい」と述べられました。大学後援会からは、鈴木仁会長より祝辞が述べられ、聖栄会からは高橋興亜会長に代わり副会長である荒木裕子副会長より祝辞が述べられました。

記念講演では日本総合医学会会長の渡邊昌先生が「食と健康のこれから」と題して在学学生、教職員に「健康長寿に生きていく為に自己を磨いてほしい」と述べられ、今後の東京聖栄大学の更なる発展への励みとなる式典になりました。

聖栄会だより

ご挨拶



聖栄会会長
高橋 興亜

青葉が美しい季節となりましたが、聖栄会の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

東京聖栄大学の前身である聖徳栄養専門学校の同窓会が創設されてから、来年は節目の六十周年になります。五十周年の時には記念誌を発行しましたので、記念講演を考えております。昨年、聖栄会千葉支部を立ち上げましたが、その後、支部が新設されております。役員会でもこの件につきまして議論をしております。具体的に進めるため、思いをついで情報収集を行い、他県へも働き掛けを強化したいと考えております。

今後、検討したいという県がありましたら、聖栄会まで気軽にご連絡いただければ、積極的に支援してまいります。また、各分野活躍されている会員の参加を得て、新しい風を吹き込み本会の活性化を図ってまいります。

今、食の安全・安心、健康への関心が高まる中、廃棄食品の横流しや、某旅館では食中毒の疑いにて、行政からの多額の食中毒患者が出たことなど危険な出来事が報道されておりました。一方、特定保健用食品、栄養機能食品、機能性表示食品、国の審査なしで製造者の責任のもとで機能性を表示できる「機能性表示食品」制度が新たに表示されます。また、資源を大切にするための試みとして、食品のロス削減活動が始まったこと、明らかにニーズも高まっています。

さて、母校に目を移しますと、東京聖栄大学の躍進は目覚ましいものがあり、施設の拡充、入学生の定員充足、高い就職率、第二十九回の管理栄養士国家試験の合格率は二〇〇%と、健全経営による大学の評価が高いことは卒業生としての上ない喜びであり、誇りでもあります。これも、熱心に学ぶ学生の意識の高さと、先生方の熱意の賜物と思っております。昨年、短大から大学に移行してから十年となり、開学十周年記念式典が挙行されました。さらに、理事長の福澤美喜男先生が秋の叙勲で旭日中綬章を受賞されるなど、誠にめでたい年となりました。先生にはお元気に活動されますことをお祈り申し上げます。

聖栄会の活動も、総会で議決された事業計画に基づき運営しております。次代に向けて伝えたいこと、会員の意識の向上とスキルアップを目指して、機会あることに議論してまいります。

最後に申し上げますが、母校の発展と聖栄会の皆様のご活躍をお祈りいたします。



名誉会長
松本 信二

ご挨拶

昨年度は四年制開学十周年のお祝いから始まり、福澤美喜男理事長の旭日中綬章の受勲など、数々のお祝いが続き学園に誇りを持って一年であったことは大変喜ばしいことでした。本年も引き続きその流れを絶やさず、明るい雰囲気の中で学生たちがキャンパスライフを過ごせることを願っております。

管理栄養士の国家試験では七期生の受験者全員、一〇〇%の合格者を出したことも、また素晴らしい出来事でした。このことは、後輩たちにとってもいい見本となり、自分良い励みになっていくことと思います。

学生の就職の面で順調に良い結果を残しております。数年前から二人の就職支援アドバイザーをお願いし、徹底した指導を行っております。このお二人はもとも本学の方ですが、前職が企業のお呼ばれた先生方もあり、学生に対してより実践的な指導の効果が現れたものと思われ、それと、何としても大きな要因は、本学の栄養・食品の教育実績の歴史の重みにあることと、す。即ち、卒業生の皆さんの社会での活躍に恵まれている現状です。今後とも思に与かっていられる現状です。今後は、卒業生の皆さんには益々ご活躍され、本学の名声を広めていただければと願っております。

もう一つお願いがあります。これからは少子化の傾向が顕著になり、学生の確保が厳しい時代を迎えております。本学もこのところ何とか学部定員を満たしておりますが、年々厳しさを増して来ております。この状況を克服するためには、教職員一丸となって教育内容の充実、魅力ある大学となるよう努力してまいります。卒業生の皆様にも受験生確保へのご協力を頂ければ幸いです。



名誉顧問
福澤美喜男

ご挨拶

聖栄会の皆様には日々ご活躍のこととお慶び申し上げます。昨年は大学が開学十周年を迎え、更なる教育環境の整備拡充のため、管理栄養学科が設置された栄養教養養成課程のために4号館のホールをリニューアルと研究室の増設や演習室、共通教育センターの設置を行いました。今年度は新たに中長期計画に基づいて、6号館（階体実験室）にある食品学科所属の高機能機器（液体クロマトグラフ質量分析計、アミノ酸分析計、電子顕微鏡等）の更新を計画しております。

昨年の秋は表彰が相次ぎました。まず九月には、阿左美善治先生が長年の栄養士・管理栄養士の養成にご尽力されたことが認められ、栄養士養成成功者として全国栄養改善大会の席上で厚生労働大臣表彰を受けられました。次に十月には、本学学生の献血活動が認められ、大学が日本赤十字社の近衛忠雄社長から「銀色友功章」の盾をいただきました。

秋の叙勲は、不肖私が私学振興功勞により旭日中綬章を拝受いたしました。中綬章以下は伝達式は文科省の場合、国立劇場のホールで行われ、伝達式終了後はバスに分乗して皇居に赴き、天皇陛下に拝謁の栄を賜りました。なお、一月二十一日の叙勲祝賀会には聖栄会から記念品と花束を贈り、ありがとうございました。

さて、同窓会には、古くは聖徳栄養高等学校から東京聖栄大学まで、卒業された方々がおられますが、地方で活躍されている方も沢山おられます。その活躍している「ユニース」はほとんど聖栄会では把握していない現状です。そこで提案しますが、平成二十九年に学園創立七十周年を迎えるので、創立記念日にあわせて home coming day を計画した方が何でしょうか。それを起爆剤として地域毎に集う支部ができれば、同窓会相互の連絡ができ、聖栄会の組織の活性化につながると思っております。役員会でも検討してみたいと思います。結びになりますが、聖栄会員の皆さまのご活躍とご健勝をお祈りいたします。

東京聖栄大学第八期生学位記授与式

3月15日（火）に学位記授与式が東京聖栄大学わたなべ記念館において挙行されました。第八期生161名が聖栄会へ入会されました。心からお祝い申し上げます。



食品学科 宿泊研修（1年生：栃木県日光市）（2年生：長野県伊那市）

1年生は、入学式後の4月3日から1泊2日の新入生宿泊研修を、栃木県日光市で行いました。研修では、学科ガイダンスを行い、学科の目的、教育課程ならびに卒業までに取得できる資格について各教員から話されました。夜には、学生と教員でグループとなり、オリエンテーションを行いました。翌日は、日光東照宮拝観、おかし製造工場の見学、豆腐作り体験を行いました。

2年生は、8月8日から2泊3日のフィールド研修を、長野県伊那市で行ないました。地元産そば粉を使ったそば打ち体験や、伊那食品工業にて、寒天についての特別講義を受けました。宿泊先である高遠さくらホテルでは、講義と野菜収穫を行いました。講義は、各教員より研究室紹介がされ、卒業研究、卒業制作について話されました。野菜収穫は、ホテルに大学の研修農場があり、そこで野菜収穫を体験しました。

研修では、普段の大学生活では経験できない時間を過ごし、クラスメイトや教員と親睦が深まる有意義な研修であったと言えるでしょう。



新入生宿泊研修



フィールド研修

管理栄養学科 宿泊研修（葛西臨海公園）

管理栄養学科では4月に1泊2日の新入生研修を実施しています。本年度も新入生（第11期生）は葛西臨海公園「ホテルシーサイド江戸川」にて研修を行いました。

研修プログラムは、岡田弘教授指導のもと「仲間作り・グループワーク」に重点を置いた内容となりました。加えて同級生や上級生、先生との交流、並びに管理栄養士という職業について理解をすることを中心に研修を進めていき、これから4年間一緒に過ごす仲間たちとの絆を深めました。夕食後は上級生がレクリエーションを企画、翌日は葛西臨海公園にてバーベキューを行う、という充実した2日間となりました。

宿泊研修を通して学生同士、そして学生達と教員との信頼関係を構築する有意義な時間を過ごすことができました。



体育祭

平成27年5月22日（金）、船橋グラウンドにおいて体育祭が開催され、聖栄会が協賛参加しました。当日は晴天に恵まれ、100m走や綱引き、クラス対抗リレーなどの他に、教職員参加の競技も多数実施され、歓喜につつまれた体育祭となりました。聖栄会では総合優勝した1クラスに会長賞、出席率100%の3クラスにチームワーク賞を授与しました。



聖栄葛飾祭

平成27年11月7日（土）・8日（日）に「聖栄葛飾祭」が開催されました。今回は「食で広がる笑顔の輪」と題して、テーマに合わせた出展や装飾が行われました。聖栄会では、毎年恒例のお茶席を設け、多くの卒業生が来場され歓談がなされました。また、学友会主催のチャリティー企画「もちつき」に協賛参加しました。

平成28年度「聖栄葛飾祭」は11月12日（土）・13日（日）に開催されます。詳細は大学・聖栄会ホームページをご確認ください。多くの卒業生のご来場をお待ちしております。



福澤美喜男先生おめでとうございます

私達の恩師であります福澤美喜男先生が、平成二十七年秋の叙勲で旭日中綬章を受章されました。

この旭日中綬章は、国家または公共に対し顕著な功績を挙げた人に贈られる、大変名誉あるものです。聖栄会一同心よりお祝いを申し上げます。

先生は、食と栄養の専門職育成に情熱を捧げられ、私達を時には厳しく、優しくお導き下さいました。今、大勢の卒業生が各分野で活躍しておりますのは、先生のお陰であることは言うまでもありません。特筆すべきことは、短期大学から大学への移行に心血を注がれ、今や評価の高い大学へと成長を続けております。また、全国栄養士養成施設協会の副会長を永年務められ、現在は顧問として多大な貢献をされております。

平成二十八年二月二十一日には、品川プリンスホテルに於いて、関係者諸先生、出席者が多いため教子には限られておりましたが、総勢二百名余りによる受章祝賀会が盛大に開催されました。和やかな雰囲気の中で祝賀会が進められ、先生も大変お喜びになられたのが印象的でした。これからも健康にご留意され、ますますご活躍されますことをお祈り申し上げます。

聖栄会一同



平成二十七年年度 聖栄会総会 ―東京聖栄大学同窓会―

平成二十七年年度聖栄会総会が六月七日(日)、東京聖栄大学において開催されました。

高橋会長(専門七期)が議長に、立川氏(短大二期)が副議長に選出され、議事に入りました。

高橋会長(専門七期)より次のような挨拶がありました。「本年度本学は開学十周年という節目の年を迎え、記念式典を開催しました。聖栄会として本学の発展のため精一杯活動していきたい」という所存を本学の代表として述べ、本年度は役員改正の年となります。役員を引き継いだ人たちにこれからはぜひ頑張ってもらいたいと思っております。」

引き続き報告、議事と進行されました。

飯田氏(短大三期)から平成二十六年度事業報告、哥氏(短大三期)から平成二十六年度会計報告があり、会員の拍手を以て承認されました。続いて平成二十七年事業計画案と予算案が提出され、それぞれ承認されました。役員改正に伴い、新役員が選出されました。

会長 高橋興亜(専門七期)
副会長 永野幸枝(短三期) 荒木裕子(短九期)
総務 立川知子(短三期) 山本直子(短二期)
庶務 飯田真由美(短三期)
庶務 山本浩作(大二期) 中村太一(大四期)
庶務 簡治由紀子(大六期) 海老澤隆史(大三期)
会計監査 牛澤良美(短三期) 吉田真知子(短三期)
書記 矢島克彦(大二期) 平塚文乃(大五期)
顧問 荻野薫子(専門七期)

総会後、引き続き懇親会が行われました。



平成二十八年年度 定期総会開催のご案内

平成二十八年年度の定期総会ならびに懇親会を左記の通り開催いたします。

日時 六月五日(日) 定期総会 十一時から
懇親会 十二時三十分から

会場 総会 東京聖栄大学別館四階会議室
懇親会 一号館一階多目的ホール

懇親会費 一〇〇〇円

懇親会は一号館多目的ホールで開催いたします。皆様お誘いあわせの上、お気軽にご参加ください。

※同封のハガキで五月二十五日(水)までにお申し込みください。

※なお、欠席された場合でも必ず委任状をご投函願います。

第二十七回 食文化研究会開催される

今回の食文化研究会は、フランスアルザス地方の食文化の研修で、浅草橋にあるブラッスリー・ジョントにて開催されました。アルザス地方はドイツとの国境に接しており、言語も食文化もフランスとドイツが融合し存在している。アルザス地方の料理でシュークルトという料理は、スパイスをたっぷり使った自家発酵させたザワークラウトと豚の加工肉とを煮込んだとても有名な料理です。ザワークラウトはドイツ料理として有名ですが、アルザス地方でも料理の材料として頻りに用いられています。

今回の食文化研究会では、ジョントさんにお願いで、食文化研究会のためのオリジナルメニューを作ったいただき、アルザス地方で有名な料理を出していただきました。シュークルトや数種類のスパイスを巧みに使って焼き上げたパンデビスというケーキに、レバーペーストを塗っていただく前菜は参加者のお気に入りでした。また、アルザス地方のピザパイのタルトフランベも食材を変え何種か出していただきました。アルザス地方はおいしいワインが生産されることでも有名で、今回はアルザスの白ワインをお料理とともに楽しむことができました。



第二十八回 食文化研究会開催について

食文化研究会も今回で二十八回目を迎えます。本年度の食文化研究会は北欧料理であるスウェーデン料理をとりあげて学びたいと思います。ジャガイモ、サーモン、ニンジンといった食材はスウェーデン料理の代表とも言われております。是非、この機会に北欧料理の食文化を学んでみませんか。尚、会場の関係で二十五名の募集となりますのでお早めにお申込下さい。

日時 平成二十八年十月二日(日) 十二時より

会場 北欧料理リラ・ダラーナ 東京都港区六本木6-2-7ダイカンビル2階

参加費 六千円

募集定員 二十五名

※参加希望の方は東京聖栄大学食品学第二研究室荒木か総務課飯田までお申込下さい。

電話番号 〇三三六九二一〇二二(内線六三三)
お申し込み頂いた方には、後日、ご案内を差し上げます。

同窓生通信

後期高齢者になつて

専門七期 鈴木 紀夫

一月の末に一通の手紙が舞い込んで、身体が固まってしまいました。生来勉強嫌い、その中でも特に文章を書くという事は最も苦手としているからです。中学のときは野球、陸上(短距離)、高校では排球に熱中し、受験勉強など全くの無縁でした。そのためか、大学受験に失敗し、東京でアルバイトをしながら予備校通いをしていました。たまたま目にしたのが聖徳高等栄養学校の看板でした。終戦後食べるものがない子供時代を過ごした私にとって、食に対する執着があったのかも知れませんが、ここで勉強すれば食いつばぐれはないだろうと選んだのが、聖徳高等栄養学校だったような気がします。何か自然の流れだったように思い出されます。

昭和三十五年に入學し、三十七年に辛うじて卒業するまでの二年間、一般教養を除けば、何もかも新鮮で楽しい時間でした。長くは続かず、遊びと部活動(ワングル部、学校行事(学園祭・修学旅行(十和田湖・修善寺))が全てだったような気がします。こんなことで良く卒業させていだいたと、不思議に思っています。これも渡邊学長さん、福澤先生現理事長)をはじめとする諸先生方のご協力があってのことからだと、心より感謝申し上げる次第です。

卒業後五年間、いろいろな経験を積んで、昭和四十二年に故郷(信州)に戻り、栄養士免許に全く関係のない仕事(会社)に勤務し、半世紀になろうとしています。今もって現役です。本社は軽井沢で、御代田、佐久、



2014年6月18日 徳州上山田温泉 聖栄セブン会

短大を卒業して…

短大二期 嶋崎 閑子 (旧姓：上野)

短大を卒業して四十年の歳月が流れた。机を並べた学友たちはどんな人生模様を描きながら年輪を重ねているのだろうか。そんなことを思いながら、この原稿を書いている。クラス会を開催しようと思いつきながら、数年前、実行に漕ぎ着けなかった。数年か、実行が着いたところ、幹事以外返信があったのは僅か数名という寂しい現実で、四十年の時の長さを感じずにはいられなかった。それでも、食品化学部で活動と共にした仲間たちとは、総会と学園祭にはミニクラス会と称して、集まることにしている。まずは、御指導頂いた先生方にお会いして御挨拶、相変わらずのパワフルさについても圧倒される。学園祭での同窓会席では、役員の皆様からのお抹茶の接待を受け、そこで一頻り学生時代の思い出話し等々に花を咲かせる。そして、このような時間を持つことに感謝しないとな、と言いつつまた次の再会を約束する。

私は卒業時、栄養士への道を進まず、製薬会社勤務の道を選んだ。子育てのために退職、そして子育ても一段落し職場復帰を考えていた時期に父が脳梗塞で倒れてしまった。復職はお預けとなり私は父の介護をする事となった。また介護保険制度が確立する前のことで、現在のよう情報も少なく試行錯誤の日々だった。介護の研修会や講習会を探しては出かけて行き、介護の知識や技術を習得して。お陰様で在宅医の先生をはじめ多くの方々に支え助けて頂き、十七年間父を在宅で介護することが出来た。そのお礼が少しでも出来ればと思いつ、今はケアマネジャーとして仕事をさせて頂いている。

超高齢化社会を迎え、平均寿命は延び続けているが、要介護状態ではない健康寿命との間にはおおよそ男



性で九歳、女性で十三歳の差がある。いかに健康寿命を延ばすことが出来るかが、これからの課題でもある。この健康寿命を延ばす上で「食」の問題は避けて通ることは出来ない。胃腸等で必要栄養量を確保し、生命を維持することは出来るが、食べ物で味わって食べられるが、その口で延びては平均寿命と健康寿命との差を狭めることに繋がって行くのだと思うからである。

栄養士の道に進まなかったことを後悔したこともあったが、短大で学んだ栄養の知識が知識、父の介護で学んだ介護の知識、全て私の「栄養」となっている。今もいつ介護される側になるかわからないが、健康寿命を延ばす努力をしつつ、もう少しこの仕事が出来ればと思っている。

インターネットを通して 外食文化を

大学二期生 古内 千春

私は東京聖栄大学を卒業し、小さい頃から夢だったお菓子メーカーへ就職致しました。お菓子業界に見切りをつけ、「食」に関係した異業種にいつてみたいなと思いつ、株式会社ぐるなびへ転職致しました。

主な仕事内容は、飲食店へ出向き、ぐるなびというサイト上でのお店の広告をしませんか?という営業活動を行うことです。ぐるなびにお店を



◆「聖栄葛飾祭」のご案内

聖栄会では、今年も「聖栄葛飾祭」において別館四階を会場としてお茶席を設けます。卒業生の会員の皆様はぜひお越し下さい。

日時・平成二十八年 十一月十二日(土)・十三日(日) 各日十時から十六時まで

お知らせ

●入試説明会(要予約)

6月11日(土)	6月25日(土)
----------	----------

●オープンキャンパス(要予約)

7月9日(土)	7月16日(土)
8月6日(土)	8月7日(日)
8月27日(土)	8月28日(日)
3月28日(火)	

※3月28日(火)は高校1・2年生対象

●受験相談会(要予約)

9月17日(土)	10月15日(土)
11月26日(土)	

●聖栄葛飾祭(予約不要)

11月12日(土)	11月13日(日)
-----------	-----------

※受験相談コーナーを開設します

入試説明会・オープンキャンパス・受験相談会は 各日とも12:30受付、13:00~16:00となります。

お問い合わせは 電話 03-3692-0238 入試・広報課まで